



こども発達支援

# Co-Co テラス

2024. 3. 23

## 通信

桜の開花時期がテレビ等で話題に上る今日この頃、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？

さて、昨年4月1日に開所した Co-Co テラスは、はや1年を終えようとしています。保護者の方々のご協力をいただきながら進むことができました1年間でした。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

あらたな4月1日を迎えるにあたって、これからも、お子様や保護者のみなさまにとって必要な Co-Co テラスであり続けられるよう進んでいきたいと思っております。今後ともご協力ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

### <再び Co-Co テラスの理念とは>

「できた！」が笑顔と自信になる これは Co-Co テラスのキャッチフレーズです。

Co-Co テラスは、『明日の未来を変えるため、子どもたちの今できることを大切にする』をモットーとしています。「できた！」をフォローし、自信につなげ、可能性を最大限引き出しながら、子どもたちが自分らしく個性を輝かせられるよう、自立に向けての必要な力を養う。これが、Co-Co テラスの理念です。その理念を確かなものにするために、下記の3つの『C』を掲げています。

#### Comfy (心地よい)

子どもやご家族とパートナーシップでつながり、より自分らしく、より生活しやすい Comfy(心地よい)な居場所をつくりまします。

#### Confidence(自信)

心と身体に働きかける多彩なプログラムで、発達を促し、個々の発達に応じたトレーニングで、楽しく自己肯定感につながる Confidence (自信) を培います。

#### Coruscate(個々が輝く)

子どもたちの「いま」を的確に把握し、個々に寄り添いながらご家族と一緒に Coruscate(個々が輝く)を実現します。



### <子どもたちと作り上げる>

心地よい居場所も、個々の子どもたちの自信や自己肯定感も、スタッフのみの考えを押しつけてできるものではありません。子どもたちの活動や遊びの中で、困って泣いたり、訴えたり、走り回ったりする日々の姿に、個々の課題を読み取ることが第一歩です。そこから、どうすれば子どもたちの笑顔や変容が見られるのか、スタッフがそれぞれの経験と知識から意見を出し合い話し合うことで、有効な環境設定、そこに必要な教材・教具の購入、使い方の工夫を含めて個々への手立てを考えて取組んでいます。個別支援計画をベースにしながらも、その日の子どもたちの様子を見とりながら支援を行っています。

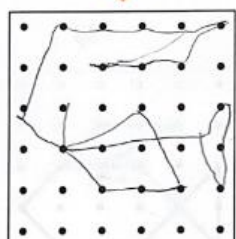
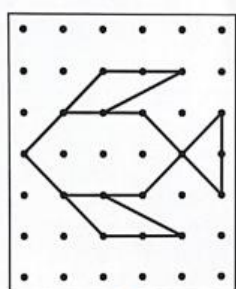
就学前の子どもたちの療育では、運動課題と机上課題を2本の柱とし、運動課題では、体幹を整え、バランスの良い運動発達を促すことを目的に、サーキット運動を取り入れています。机上課題では、個々の発達から今伸ばしたい力を見極め、一人ひとりに合った課題をスタッフと子どもとのマンツーマンで取り組んでいます。



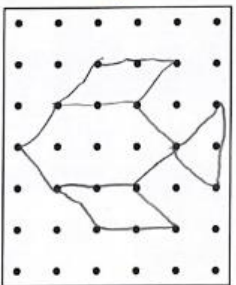
小学校からの放課後デイでも様々な取り組みをしました。その日の活動をホワイトボードにスケジュールとして視覚化し、活動に取り組めるようにすること、手先が器用だけれど集中力に課題がある子には、興味のあるテーマを生かして、プラモデル製作を活動に加え集中力と微細運動を促すこと、恐竜が好きだと分かった子には、恐竜フィギュアの解体・組み立てを活動に加え手指の微細運動を、塗り絵が好きな子には、好きなキャラクターの塗り絵を通して、他児とのコミュニケーションや、作品掲示で社会性を培う場にするなど、自己実現を図りながらCo-Co テラスが楽しみな場所になるように取り組んできました。時に、考えた手立ても子どもに合わないことしばしばですが、子どもたちの変容がみられるまで、手立てに修正や変化を加えながらとりこんでいます。Co-Co テラスの活動は、子どもとともに作り上げてきたのです。



### <変容する子どもたち>



ここまで見えるようになりました。



就学前の子どもたちでは、言葉が出にくかった子に「ください」「ありがとう」「かして」等々の言葉がでたり、ピョンピョンと跳べなかったトランポリンが跳べるようになったり、鉄棒にぶら下がれた、一本橋をうまく渡り切れた、Yバイクに乗れた、おしっこが言えた、マッチングができた、パズルが完成・・・などできることがどんどん増えていきました。

放課後デイの子どもたちも、変化が見られてきました。  
★コミュニケーションが不得意でみんなと遊ぶのが苦手だった子どもが、日々の活動を積み上げてきたことで、集団ゲームに参加できるようになってきました。

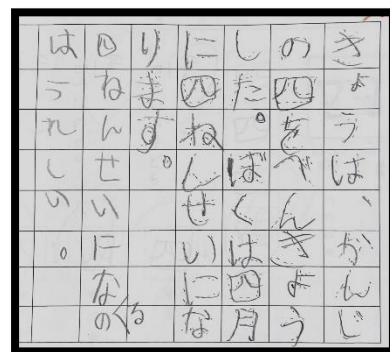
★集中力に課題があった子どもはプラモデル製作を通して、集中できる時間が増えてきました。好きではなかった漢字学習にも取り組み、絵本の音読もするようになりました。

★活動をスケジュール化し視覚化したことで、落ち着いて机の前に座り、学習することができるようになり発語も増えた子どももいます。算数では一桁同士の繰り上りの足し算ができるようになり、引き算も式と答えを書き答えの名数を書くまでになりました。2月からは、短い日記に挑戦しています。「学校 給食 ある。」これは最近のその子の言葉です。

★「できなかったことができるようになる」の中でも、特に成長を感じるのは、なんでも自分が1番でないとい我慢できなかったことが、1番でなくても活動を楽しめるように

なったり、自己主張が強くて譲ったり待ったりできなかったことが、「いいよ」と、譲りあえたり、感情が抑えられなくて怒ったり泣いたりしても、自力で立ち直れるようになったり、心の成長や社会性の発達です。

子どもの成長には目を見張るものがあります。新年度も子どもたちを見守りつつ、スタッフ一同とともに成長することを目指して、日々に療育・支援に取り組んでいきたいと思っています。



### 「おしらせとお願い」

3/19付(A4プリント)で、令和6年、4月からのCo-Co テラスの利用についてのご連絡をしております。ご確認ください。